

題材 「こまをせっけいしよう」 全5時間中の第2時

(1) 学習のねらい

こまには様々な種類があることを知り自分でも作りたいと思った児童がどんなこまも軸を中心にバランスを取りながら回るといいうつくりをもとに、自分の工夫点を入れたこまの設計を考えるを通して、設計に必要な要素に気づき、まとめることができる。

(2) 本時の学習材

模範のこま

- 前時を振り返り、「こんなこまがつくりたい」がざっくり浮かんできた子供たちは、「この材料で作ってみたい」、「こんなみためのこまにしたい」、「このくらいの大きさを作りたい」などそれぞれの独自性を入れようとする。そしてどんなふうになればこまとして回るか疑問に持ち出したところで、学習材を提示する場を設ける。
- 本学習材は、折り紙やマスキングテープなど身近なもので作ったこまである。このこまに触れることで、子どもたちは実際に自分が作る際のこんなものでもできる、こんな風に作ればいいのかと参考になるだろう。そして、自分の考えを深め、オリジナリティのあるこまの設計を考えることが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握 展開	1 他の人の考えを見る	学習問題 何を、どうすれば、ちゃんと回るこまができるだろう。	3	○書画カメラで数人のノートをテレビに写し、他の人がどんなことを考えているかを示す。 ○本人が説明。この点が良いと教師が言うことで、全体に意識させる
	2 身近なもので作ったこまの例を見、自分の考えを再検討する。	・ぜんぜんまわらないー ・すごくよくまわる！	5	◇中心じゃなければどうなるか確認 ◇教師が作って見たものを書画カメラで表示し、全体に別の方法があることを気づかせる。 ○「こんなこまもあるよ。なにでできているかな？ どう回るかな？」
	学習課題 こまのせっけいを考えよう	・ざいりょう ・工夫 ・つくりかた ・あとなにがいるかな	8	○「もう一度こまの設計を考えてみよう。何を書くべきかな」 (意図) 型を提示することで、考えをまとめやすくする。 ・素材 ・工夫 ・図 ・どんなこまにしたいか

学習材

模範のこま

終末	4個人でこまに必要な材料、工夫点をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・見た目が綺麗なのにしたいな ・どのくらいの大きさならよく回るかな ・これ使ってもできるかな 	24	<p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんなこまも軸を中心にバランスを取りながら回るといいうつくりののっとり、自分らしさを入れたこまの設計を考え、表現している。(ノート)</p> </div>
	5本時のふりかえり		5	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートに授業を振り返って気づいたこと、思ったことを記入 ・

	<p>こまのせつけいい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップ ↓ちがう見方 ・自分が作りたいものへの工夫がいっぱい ・しんはどうの中心 <p style="color: red;">こまのきほん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書くこと</div> <ul style="list-style-type: none"> ・材料 ・工夫 ・図 ・手順 など……
--	--